

医療・介護フェス2026

安心と信頼の医療と介護 中央集会

医療・介護の現場で働く人の職場環境や、人手不足などの課題について考えるイベントです。

5.16 土 13:00-16:45

プログラム

I部：基調講演

II部：医療勉強会、介護勉強会

13時～

基調講演

「医療・介護現場における
労働安全衛生・カスタマー
ハラスメント対策について」
講師：自治労法律事務所
上田 貴子 弁護士

15時15分～

医療勉強会

「2026年度
診療報酬改定について」
講師：厚生労働省
保険局 医療課

15時15分～

介護勉強会

「賃上げ、人員確保、
介護保険制度の課題
について」
講師：淑徳大学
結城 康博 教授

<連合HPはこちら>



フェスの模様は当日
YOUTUBEにて
ライブ配信いたします。

<基調講演&医療勉強会配信URL>



<介護勉強会配信URL>



医療

医療人材の確保には 継続的な処遇改善が必要！

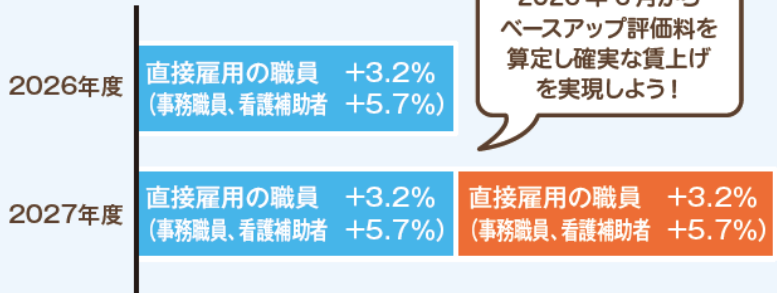
確実な賃上げが必要

2026年度診療報酬改定では、ベースアップ評価料の引き上げや対象職種の拡大など賃上げを重視する改定となりました。人材確保に向けては、確実な賃上げとともに、継続的な処遇改善が必要です。

働き続けられる環境づくりを！

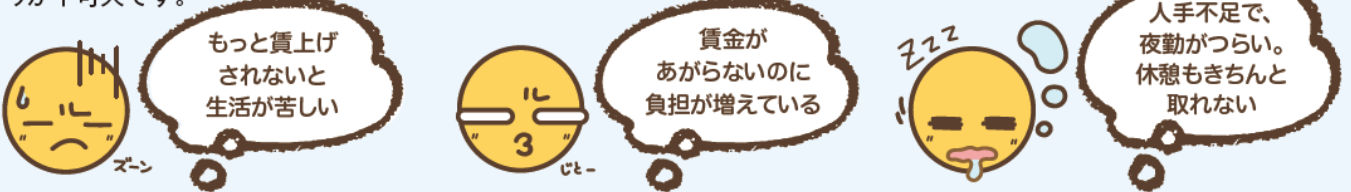
人員不足による夜勤の負担、休憩・休暇の取りづらさなどの課題もあります。医療現場で働くすべての人が働き続けられる環境づくりが不可欠です。

■ 診療報酬における賃上げイメージ



2026年6月からベースアップ評価料を算定し確実な賃上げを実現しよう！

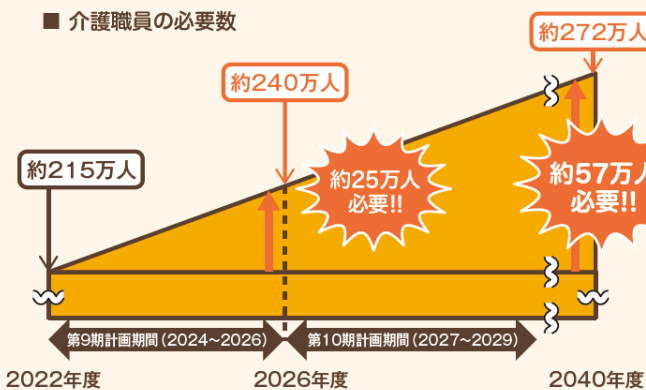
※直接雇用の職員であっても40歳以上の勤務医師・勤務歯科医師・薬局の勤務薬剤師は対象外
(出所:中央社会保険医療協議会総会第641回資料をもとに連合作成)



介護

介護の質と量に対応できる 介護人材の処遇改善が急務！

■ 介護職員の必要数



介護の需要増に対して人材が不足

2040年には272万人の介護職員が必要とされています。しかし、有効求人倍率は職業計1.14に対して、介護関係職種は4.08*と高い水準で推移し、人手不足が深刻です。

全産業との格差が大きい賃金

介護報酬においても、診療報酬と同様に処遇改善をめざす改定が行われているものの、賃金は全産業の月平均38.6万円に対し、介護職員は30.3万円*と格差が大きい状況です。

*2024年時点
(出所:社会保障審議会介護給付費分科会第247回資料)

